

国際刑事警察機構への台湾の参加を



特別寄稿

台北駐日経済文化代表処横浜分処

張淑玲処長

第92回国際刑事警察機構（ICPO、インターポール）年次総会が4日から7日に英国のグラスゴウで開催されている。

ICPOは各国の刑事警察機関による連携と情報交換を通して、国際テロ組織の活動など凶悪な国際犯罪の抑止・排除を目指す国際機関である。世界各国がICPOに参加することは、当然、国際犯罪を抑止・排除するうえで極めて有効であろう。

米国在台協会（AIT）台北事務所所長のサンドラ・オウドカーク前所長は「台湾は私が生活した中で、最も安全なところだった」と絶賛した。生活費比較サイト「ナンベオ」（Numero）による台湾の安全性指数は、アンドラ、アラブ首長国連邦、カタールに次いで安全性は4位。犯罪率では4番目に低い。また、国際交流コミュニティの「インターネーションズ」（InterNations）が発表した、海外駐在員にとって住みやすい、働きやすい海外居住地をまとめた2023年度調査によると、台湾は海外駐在者が選ぶ最も住みやすく働きやすい国・地域の5位にランクされ、生活クオリ

ティは2位、安全性は8位、ヘルスケアについては首位だった。台湾は優秀な法執行能力を有しているとはいえ、刑事事件捜査の過程において、味方となる警察当局との協力が極めて重要であるほか、リアルタイムの情報交換こそ国際犯罪撲滅のカギとなる。しかし、インターポールに加盟できない状態であるため、台湾は迂回して国際協力を求めるしかなく、差し迫る必要な情報を何とか取得できたとしても、その時にはタイムリミットを逃してしまふこともある。このような手詰まりの状況は、往々にして国際犯罪に悪事を働かせるより多くの時間を与えてしまい、世界の損失はより重大なものとなる。

犯罪撲滅は世界共通の普遍的な価値と概念であり、我々はより安全な世界を目指すために、共に協力していくことを心より願っている。日本をはじめ世界各国と協同して国際犯罪抑止に向けた課題に取り組み、貢献していけるものと信じている。安全な世界に向けて、台湾とICPOがともに手を携えて協力できることを願っている。